

野良のかぜ 街のかぜ

2013年
平成25年
12月議会



横山秀男の市政報告

●発行者：日高市議会議員 横山秀男 ●連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台1-11-1 ●電話・FAX：042-982-0369
メール：h-yoko@a2.so-net.ne.jp ブログ：http://d.hatenz.ne.jp/hideoyok/

**「中期財政計画を策定、
予算編成の根拠を示す」
◆市の義務として収入見
通し、使途の説明が必要。**

平 成25年度12月議会質
問で、私が従来から
実施を促してきた2つの
テーマに関して、大きな
進展と重要な情報開示が
ありました。

- 1 計画的予算編成と議会
市民への分かり易い情
報提供が約束された。
- 2 4年計画で進行中の行
政改革4課題、うち最
重要課題である公共施
設の老朽化対策に必要

な金額が公表された。

現 在、平成26年度予算
編成が進行中です。

市の歳入と歳出について
議会、住民への情報の提
供と説明でどんな点に留
意しているか、を質した
上で、平成23年12月の私
の質問に対する「24年度
中に中期財政計画を策定
する」との答弁の実行を
確認しました。策定され
ていなかったのですが、
私はこの問題を継続して
取り上げてきました。

従 来の予算編成が年度
重点施策の説明がほ
とんどで、過去を踏まえ
た将来の収入見通しや社
会変化に伴う市民サービ
スと支出の方向について
見解を示してきませんで
した。これでは積極予算
といっても、収支見積り
と使途が適切で、市民要
望に沿っているかわかり
ません。財政課独立の目
的も、まず第一に市の財
政情報の分かり易い提供
にある事を確認しました。

**「公共施設の改修と維持
に今後600億円必要」
◆妥当な額か、市民サービ
スはどう変化するか。注目！**

源 不足が前提となる今
後の市事業は、高齢
化、子育て、弱者対策等
に配慮した市民サービス
を提供していかなければ
なりません。財政調整基
金(市の貯金)取り崩し
に頼ることについても全
体の財源や使途の詳しい
説明が義務として必要で
す。①地方交付税の根拠
としての地方財政計画、
②決算に関する認識と見

解、③中期財政見通しの
3点からの説明と情報提
供が約束されました。

公 共施設の建て替えと
維持による老朽化対
策が、国、自治体の最大
課題となってきました。
私は、平成24年9月議会
質問で「市民ニーズに応
える基準での老朽化診断
は自己判断ではなく第三
者機関に委託すべき」と
提起しました。これに応
じて市は、予算1200
(市負担480万円)万円
で地方自治研究機構との
共同研究・調査事業を実
施、進行中です。今後40
年間で600億、従来の
3倍の年間維持費15億円
が必要という中間報告が
今回初めて示されました。

こ の積算金額が妥当か、
市民サービスの基本
である学校、公民館等は
どうあるべきか、今後の
市政の大テーマとなりま
す。全市民的な検討と議
論が必要なので注目して
いきます。

◎12月議会での一般質問 継続2大重点テーマの成果◎

上鹿山の旧清掃センター 早期の解体処理を質す

危険な ダイオキシン が堆積

平成11年に成立し、平成12年からダイオキシン類対策特別措置法が施行された。厳しい規制値により上鹿山地区にある清掃センターでの操業が維持できなくなり、平成14年以降、市は太平洋セメントに可燃物資源化処理の方法で焼却を委託することになったわけです。旧清掃センターでは、工場とは別に設置された施設で粗大ごみの受け入れと一時保管が行われてきました。

市民生活の維持に貢献してきた施設ですが、猛毒のダイオキシンの堆積した施設であり残しておくことに何の益もありません。早期解体処理すべきです。多くの市民もこの施設の行方に関心を持っており、市としても明確な対応が必要な時期に来ているのではないかと、次のように議会に質問しました（平成25年9月議会）。

平成12年のダイオキシン類対策特別措置法施行によって操業停止。「可能な限り早期解体」発言以来10年、撤去計画はどうなっているのか。

2014年9月質問

質問

市の対応としては、平成15年に「可能な限り早期に解体」という公式発言があったが、以来、10年何もない。総合計画及び実施計画に事業としての位置づけもなし。したがって、一般廃棄物処理基本計画及び環境基本計画にも位置づけがない。このような経緯と状況を踏まえ、検討をどのように行ったのか伺う。

環境への負荷の危険性がある構造物を放置しておかず、撤去・解体の事業計画を立ち上げるべきではないか。国も国民の生活環境維持と循環型社会の形成に向け相応の支援システムを作っており、国の制度による事業化チャンスは

なかったか。解体、跡地計画をどのように進めるのか。負の遺産処理は市として早急に進めなければならぬ事業である。お金もかかるし「ダイオキシン類被爆防止対策要綱」による厳重な安全対策を施工工事としなければならない。緻密な進行が求められる事業である。計画の出発となる具体的答弁を願いたい。

停止時から解体費用の捻出が重い負担となること
が想定され、閉鎖時、煙突のダイオキシン洗浄と雨水侵入対策を行った。施設の活用状況を勘案し昨年度より重要課題として検討を開始。国の補助金や地方債を財源とする場

答弁

紙の混入が大幅減少！
成果表れてきた可燃ごみ減量
どんな小さい紙でも資源回収へ
協力しさらに成果を高めましょう

紙の混入が大幅減少！

成果表れてきた可燃ごみ減量

どんな小さい紙でも資源回収へ
協力しさらに成果を高めましょう

市公表

合、償
却、施
設、解
体と
廃棄
物処
理施
設

の建設が条件となる。更地に
する場合は解体費用の30%が
特別交付税で手当される。一
時保管施設のあり方を含め土
地利用の方向性、解体費用の
財源確保等を検討する中で解
体時期を検討していく。

議会改革

かねてより主張してきた議
会のケーブルTV・イン
ターネット中継がようやく検
討課題として議論のテーブル
にのりました。どの会議を中
継するか、費用との兼ね合い
がありますが、出来るだけ広
くし、併せて議会広報のあり
方も議論を行いたいです。

議員政治倫理規定について
議長は、最終議論で公開と説
明責任の担保として全文記録
を主張したが、議論打切りと
なり、11月全員協議会で4会
派提案の原案通り
成立しました。

根拠を
及報告
され、
影響を
示して
継続し
ます。
横山 秀男



< 編集後記 >

一般の
意味が
あり
根拠を
及報告
され、
影響を
示して
継続し
ます。
横山 秀男